

エリスロポエチン（造血ホルモン）の投与時期について（2007/2/20）

#.1

| | | | | | |
|-------|-------|------|---------|-----------------|-----------|
| Name: | デブちゃん | Age: | 10歳 | ■投与開始時の BUN/CRE | 120 / 4.6 |
| ■薬剤名 | エスポー | | ■投与時猫体重 | 3.75kg | |

| | |
|---|-------------|
| ■開始年月日～終了年月日（投与回数／量） | PCV／HCT の変化 |
| 2006.7.21～2006.9.12（週 2 回／0.8ml） | 13.8%→36.7% |
| ■抗体について： | |
| 抗体が出来なかった。というか、50 日間しか使っていないからわからない | |
| ■他の貧血対策： | |
| ダイビタミックス（0.2ml）とセファランチン（0.5ml）を毎日輸液に混ぜた | |

■飼い主さんの感想

腎臓の維持のためというのが最大の目的でした。でもあとから考えてみれば、14%ってかなりしんどい数値だったのかもしれませんが。貧血での元気消失についてはとてものんきに考えていて、まだまだ下がっても普通に生活できると思っていました。口内炎もあったので貧血だと更に悪化すると思い、その点にも効果を望みましたが口内炎はもともとあまり痛そうでなく、口の痛み自体に変化は感じませんでした。

14%まで下がるのを待たず、20%前半ぐらいで注射しておけば、もっと注射の回数が少なくて済むと思いました。回数が少なく済めば、それだけ抗体ができる可能性も低くなるかも？と素人は思っていますがどうなのでしょう。

「状態を上げて保つ」という方法を選択するのが一番いいのかもしれないと思いました。

《じいや補足》